

## 64 『明治十八年文部省事務報告』抄録〔明治十九年二月〕

- ・ 東京大学法学部別課法学科中の特等科を廃し課程変更の事
- ・ 東京法学校を東京大学法学部に合併し本郷用地内に移転の事
- ・ 東京大学予備門卒業後直ちに入学の学生徴兵猶子の事
- ・ 東京大学法政学部長心得に穂積陳重を任命の事他

## 処務ノ部

明治十八年中本省ニ於テ処理シタル事項ハ凡三万一千六十一件ニシテ其要領ヲ摘録スルニ左ノ如シ

一月三十一日客年中卒業セル東京大学医学部別課医学生徒百八名製薬学生徒十三名ニ卒業証書ヲ授与ス

二月五日東京大学文学部ノ和漢文学部ヲ分チテ和文学漢文学ノ二科トナス是一科ニ精通セシメンカ為ナリ○九日音楽取調掛ヲ本省ノ所属トナシ音楽取調所ト改称ス○十二日文部省事務規定通則ヲ定ム○二十三日官立府県立師範学校卒業生ニシテ直ニ官立学校ノ教員ニ任用セラレタルモノハ一旦其事故ノ絶ユルヲ以テ徴兵猶子ニ属セサルモノナレト元來師範学校ノ目的ハ教員ヲ養成スルニ在レハ其実事故ノ継続スルモノト看做シ随テ徴集猶子ノ特例ヲ与ヘンニテ上請允裁ヲ得○二十八日文部省明治十七年事務報告ヲ上呈ス

三月三日曩ニ伺定メタル官立府県立師範学校卒業生ノ徴兵ニ  
関スル件ヲ府県及東京師範学校ニ通知ス○十日仏国巴里府ニ  
於テ開設セル電気力本位公会ヨリ該会決議条項ノ申報ヲ受領  
ス

四月二日東京大学改築増設ノ一、理学部ヲ本学内ニ移転合併  
スル一、別課医学生徒別課法学生徒製菓学生徒古典講習科生  
徒ノ募集ヲ止メ漸次此等ノ余業ヲ廢スル一ノ三件ヲ議決ス是  
大学本然ノ事業ヲ更張整備スルニ在リ○六日文部省御用掛森  
有禮京都大阪滋賀岡山広島徳島高知愛媛ノ二府七県下ノ学事  
巡視ヲ命セラル○七日東京学士会院規則ノ改正ヲ認可ス○八  
日東京女子師範学校附属高等女学校専修科規則ヲ仮定ス 同  
日伝染病ノ流行ハ教育上深ク注意スヘキヲ以テ学生々徒中麻  
疹ニ罹リタルモノ、保養ニ関スル件ヲ府県及直轄学校等ニ通  
知ス○十日地方経済改良ノ議アルヲ以テ教育費途ニ係ル計画  
ヲ定メ町村教育費節約ノ件ヲ上申ス○十八日独逸国自費留学  
生濱田玄達ヲ官費留學生ト為ス○二十三日英国倫敦ニ於テ開  
設セル万国發明品博覧会ニ物品凡三百三十箇ヲ出陳ス○二十  
三日東京職工学校ニ英語科ヲ加フ是工芸日新ノ日ニ際シ之ヲ  
討究スルニハ宜シク洋書ニ就クヘキヲ以テナリ○二十四日府  
県立学校生徒ニシテ府県選舉師範生徒トナルモノハ府県立学  
校ニ於テ既ニ三ヶ年以上ノ課程ヲ卒リ徴兵猶予ノ資格ヲ有セ  
ルヲ以テ仮令東京師範学校ニ於テ未タ一ヶ年以上ノ課程ヲ卒  
ラサルモ仍ホ徵集猶予ノ特例ヲ与ヘン一ヲ上請允裁ヲ得○二  
十八日曩ニ上申セル町村教育費節約ノ実施ヲ延期セラレン一

ヲ上申ス○是月東京上野公園ニ開設セル繭糸織物陶漆器共進  
会ニ物品三十一種ヲ出陳ス

五月一日人民ノ上書建白及諸願書類ノ取扱手續ヲ定ム○五日  
東京師範学校体操科中仮ニ兵式体操ヲ加フ 同日曩ニ伺定メ  
タル府県選舉師範生徒ノ徴兵ニ関スル件ヲ府県及東京師範学  
校ニ通知ス○六日教科書ノ編製費八年々凡ソ四万円ニシテ到  
底完全ヲ期ス可ラサルヲ以テ従来国库ニ納付セル書籍発売代  
金凡八千円ノ外ニ尚超過ノ入金アルハ本費ニ補足セン事ヲ  
上稟允裁アリ因テ大藏卿ニ照会シ編書費取扱方及ヒ計算方法  
ヲ定ム○十一日商業教育ノ施設ヲシテ一途ニ出テシメンカ為  
ニ農商務卿ト連署ヲ以テ農商務省所轄東京商業学校ヲ文部省  
ノ所轄ニ帰シ且兵庫縣神戸商業学校モ文部省ニ於テ管理セン  
一ヲ上請允裁ヲ得 同日文部省少書記官野村綱二栃木福島宮  
城山形四県ノ学事巡視ヲ命ス○十二日兵武体操用銃器取扱要  
項ヲ二府四十二県ニ通知ス○十四日農商務省所轄東京商業学  
校本省ノ所轄ニ屬ス○十七日曾テ英国倫敦府万国衛生博覧会  
事務官トシテ發遣セシ東京教育博物館長兼農商務省御用掛手  
島精一及英国官費留學生九里龍作帰朝ス○二十一日文部省大  
書記官伴正順ニ大阪府及長崎静岡岐阜三県下ノ学事巡視ヲ命  
ス○三十日近時監獄則ノ發行等ニ依リ屍体ノ供給頓ニ欠乏シ  
医学上解剖実験ノ便ヲ失ヒタルニ由リ在獄中ノ病死者ニシテ  
其遺骸ヲ請フモノナキハ渾テ官公立医学学校若クハ病院ノ請  
求ニヨリ其監獄署等ヨリ直ニ交付スヘキ様下達セラレン一ヲ  
上請允裁ヲ得

六月六日独逸国官費留学生飯島魁帰朝ス○十日文部省御用係寺田勇吉ニ京都大阪二府及兵庫愛知岡山広島山口五県下ノ学事巡視ヲ命ス○十一日東京商業学校ノ序次ヲ東京職工学校ノ次音楽取調所ノ序次ヲ体操伝習所ノ上ト定ム○二十一日地球上一定ノ子午線零点併ニ計時普通法設定委員トシテ曩ニ米国華盛頓府ニ發遣セラレタル東京大学教授兼理学部長菊池大麓帰朝ス 同日独逸国官費留学生小金井良精帰朝ス○二十四日東京大学教授兼帯官ノ儘私費海外留学スルハ従来五年以上奉職ノ者ニ限りタルカ大学卒業ノ学士ニシテ奉職三年以上ナレハ亦之ヲ許可シ其留学年限ヲ二年内外ニ延長セン一ヲ上請允裁ヲ得○二十七日東京法学校生徒ハ特別ノ事情アルヲ以テ其授業料ヲ免除ス○三十日當時在京ノ府県長官等ヲ招集シ就学不就学児童及其学力少年子弟ノ教育、学区及学校施設教員ノ資格及配置待遇等ノ数件ヲ演述ス○是月東京商業学校講堂ノ新築ニ着手ス

七月六日東京大学法学部別課法学科中志願者ノミニ授クル特等科ヲ廢シ該科全体ノ課程ヲ四ヶ年トシ従前ノ特等科中古代法律ヲ除キ新ニ羅馬法律理財学擬律擬判等ヲ加フ○十日大阪中学校ヲ大阪大学部校ト改称シ逐次大学ノ組織トナスノ見込ヲ以テ即今予備科及一二高等ノ学科ヲ設置スル件ヲ上請允裁ヲ得但校名ハ大学分校ト称スヘキ旨指令アリ 同日東京大学ニ於テ卒業ノ学生三十名(法学九名理学十五名文学六名)ニ卒業証書ヲ授与ス 同日東京職工学校生徒授業料規則ヲ定ム 同日東京外国語学校卒業生拾四名(仏語学四名独語学三名

漢語学一名朝鮮語学六名)ニ卒業証書ヲ授与ス○十二日大阪中学校ノ組織ヲ改メ大学分校ト称ス○十三日東京大学医学部医院当直医介補規則ヲ廢シ学士研究科規則ヲ改正シ官費研究生ハ四学部ヲ合シテ定員十二人トナシ一ヶ月一名金二十円ヲ給与シ便宜四学部ヨリ選抜スル一ヲ定ム是研究生ト介補トハ其名称ハ異ナレト性質ニ至リテハ差異ナキニ因ルナリ○二十五日大学分校予科生授業料ハ一学年金十五円ト定メ之ヲ三学期ニ平分シ本年九月ノ新募生ヨリ之ヲ施行シ従前入学ノモノハ一ヶ年金三円ト定メ同ク三回ニ分納セシム○三十日東京大学予備門ハ向來大学ノ予備生ヲ教養スルニ止ラス尚ホ東京法学校及其他ノ予科生ヲモ教養セシムルノ目的ナルヲ以テ自今東京大学ノ管理ヲ解キ更ニ単立セシメント一ヲ上請允裁ヲ得

八月一日従來東洋ニ往來スル外国人ハ過半英米人ナルヲ以テ東京法学校生徒ノ如キハ其国語ニ通セサレハ後來不便尠カラサルニ因リ該校ニ英語ノ一科ヲ加フ○三日優等教育施設ニ就キテハ地方経済ト学校ノ種類トニ依リテ寧ロ府県ヲ聯合シ其資力ヲ充分ニスルニ如カサルモノアリ因テ聯合府県立学校条例案及聯合府県学事会規則案ヲ具シ其制定ヲ上請ス 同日東京職工学校長正木退藏ニ京都大阪二府兵庫三重愛知和歌山四県下ノ巡回ヲ命ス○六日東京職工学校生徒ノ退学ヲ命スヘキモノハ担当教員ヨリ平素学業篤志品行端正ナルカ若クハ疾病事故等ノ勤学ヲ妨ケシ事実ヲ証明シ後來望アルモノハ一学年間退学ヲ猶予シ尚ホ点数ノ差違等ニヨリ退学セシメサルノ法ヲ設ク○十二日はヨリ先キ教育令ノ改正案ヲ草シテ之ヲ上稟

セシカ此ニ至リテ改正布告セラル是旧令改正以既ニ五年ヲ經過シ其得失ノ実施上ニ見ハルルノミナラス前途一層学政ヲ整理センニハ之カ明文ヲ要スルモノアリ加之教育ノ事業タル常ニ国力ニ適応セシムヘキモノナレハ目下ノ如ク民力凋弊ノ際ハ教育費ニ於テモ之カ節約ヲ加フルハ当然ナルヲ以テナリ○十四日東京大学ノ予備門管理ヲ解キ自今予備門ハ東京大学及東京法学校ノ予備生他ノ官立専門学校ノ予備生ヲ教養スル所トス 同日東京法学校予科及東京外国語学校ノ仏独両語学科ヲ東京大学予備門ニ属ス○二十六日上請允裁ノ上東京女子師範学校ヲ東京師範学校ニ合併ス是前途ノ管理經濟上両校ヲ合併スルノ得策タルヲ以テナリ 同日学事視察主務官吏巡回旅費節約概則ヲ上申ス 同日東京図書館ヲ東京教育博物館内ニ移シ書庫併ニ図書閲覧室等ヲ増築セン一ヲ上申シ是月ヲ以テ工事ニ着手ス 是月東京職工学校鑄物場機械工場化学工場ノ工事落成ス 本年五月英国倫敦ニ於テ開設セル万国発明品博覧会出陳ノ地震計併ニ学術器具ニ対シ名誉賞状ヲ受領ス 九月五日東京師範学校卒業生奉職責務期限ヲ改正ス是長ク在職シテ其成績ヲ挙ケシメンカ為ナリ○七日東京大学学生々徒授業料ヲ一ヶ月金二円五十錢ト定メ従前ノ規則ニ依リテ入学セシ法理文学部学生々徒併ニ医学部製薬学生徒ハ一学年限り一ヶ月金一円医学々生々徒ハ一円五十錢マテ便宜減納ヲ許シ且夏期休業二ヶ月間ハ全ク授業料ヲ免除セシム 同日東京大学予備門生徒授業料ハ夏期休業二ヶ月ヲ除キ一ヶ月金一円五十錢ト定メ且従前ノ規則ニ依リ入学シタルモノハ一ヶ月金五

十錢以上ノ便宜減納ヲ許シ東京法学校ヨリ転入ノ生徒ニ限り之ヲ免除セシム 同日従来大学分校入学ノ予科生徒授業料ハ一学年限り免除セシム 同日東京師範学校女子師範科ノ始業定期ヲ師範学科ト同一ニシ又附属女児小学校生徒授業料減額ノ制ヲ廢ス○十一日東京大学教授兼理学部長菊池大麓本初子午線併ニ計時法ニ係ル意見書ヲ進達ス○十六日東京大学教員ハ其学科上研究ノ為平常ニ於テモ職務上差支ナキハ願ニ依リ私費旅行スルヲ得シム是曩ニ允裁ヲ経タルヲ以テナリ 同日文部少書記官西村貞二函館宮城福島岩手青森山形秋田ノ七県文部権少書記官吉村寅太郎二長崎福岡大分佐賀熊本宮崎鹿兒島ノ七県文部権少書記官野村綱二東京神奈川新潟埼玉千葉茨城群馬栃木静岡山梨長野ノ一府十県下ノ学事巡視ヲ命ス 同日勅選ヲ以テ正四位伯爵寺島宗則從四位子爵谷干城東京学士会院ノ會員ト為ル 同日東京学士会院會員加藤弘之神田孝平ヲ該院幹事ト為ス○十七日音楽取調所洋琴特別習学規則ヲ定ム○二十一日東京外国語学校同校所属高等商業学校及東京商業学校ヲ合併シ更ニ東京商業学校ト称ス是管理經濟ノ便利ヲ図リ且ツ商業上外国語ノ必要ナルヲ以テ嚮ニ上請允裁ヲ得タルニ由ルナリ○二十五日東京商業学校中二三部ヲ置キ従前ノ高等商業学校ノ教科ヲ第一部トシ東京商業学校ノ教科ヲ第二部トシ東京外国語学校ノ教科ヲ第三部トシ又従前東京商業学校ニ属スル寄附金及授業料等ニ係ル帳簿取扱及校務商議委員ニ係ル件等ヲ定ム○二十八日東京法学校ト東京大学法学部トハ教規上多少ノ差異アレ共ニ高等ノ法学ヲ授ル所ナルヲ

以テ上請允裁ノ上法学校ヲ東京大学法学部ニ合併シ従来法学部ノ学科ヲ一科トシ法学校ノ教科ヲ二科ト為ス 東京法学校ハ司法省構内に在リ且構造不適當ナルヲ以テ曩ニ本郷用地内ニ移設ヲ計画セシカ是月ニ至リ落成移転セリ

十月一日東京大学法学部卒業ノ学生一名ニ卒業証書ヲ授与ス 同日客年十二月北米合衆国祿細亞那州新荷里安斯府ニ於テ開設セル万国工業兼綿類百年期博覧会出陳ノ教育品ニ対シ大名譽賞状一名譽賞状八賞状九有功証十七ヲ受領ス○五日東京大学予備門ニ転属シタル旧東京外国語学校仏独両語学科卒業生中其願ニ依リ既修ノ語学科ヲ研究セシムルヲ定ム是旧東京外国語学校所定ノ研究規則ヲ適用セルナリ○六日東京師範学校兵式体操指令者ヲシテ帶劍セシムルヲ上稟ス是号令礼式等一二歩兵式ニ則ルニ若シ帶劍セサル時ハ全隊ノ精神上ニ關係スルヲ以テナリ○十二日文部省御用掛森有禮新潟県下学事巡視ヲ命セラル○十七日日本省本年第十一号達ノ旨ニ基キ従前ノ府県選舉師範生徒ニ官費ヲ給シ及奉職ノ責務ヲ附スル等ノ件ヲ三府三十県ニ通知ス○十九日生徒ノ徴兵ニ關シテ音楽取調所ノ資格ニ係ル件ヲ上稟允裁ヲ得○二十日文部省少書記官久保春景ニ京都大坂<sup>(ママ)</sup>二府及兵庫三重愛知滋賀岐阜福井石川富山和歌山九県下ノ学事巡視ヲ命ス 同日東京師範学校生徒募集ノ為同校長高嶺秀夫ニ京都大阪二府及兵庫三重愛知滋賀岐阜福井石川七県ノ巡回ヲ命シ十一月十三日ニ至リ更ニ富山和歌山二県ノ巡回ヲ命ス○二十一日東京大学医学部学生及別課医学生徒ノ授業料ハ次学年ニ於テモ引統一ヶ月金一円五十

錢製菓学生徒ハ金一円マテ減納スルヲ得シム 同日東京学士会院會員伊藤圭介村上英俊ノ二名ニ別ニ年金百五十円ヲ給与ス是年齡七十以上ニシテ学芸上特ニ功勞アルヲ以テナリ○二十六日東京師範学校師範学科生徒卒業後ノ責務等ニ係ル誓書式ヲ定メ又女子師範学科生徒ノ学資ヲ一ヶ月金五円ニ増加ス 同日独逸国官費留學生高橋順太郎帰朝ス○二十九日小学師範学科ノ卒業証書ニ有効年限ヲ記載スルヲ廃ス○三十一日東京大学前学年卒業ノ学生四十七名(法学部十名理学部十五名医学部十六名文学部六名)ニ学位ヲ授与ス 同日東京大学予備門生徒中病氣事故等ニテ全一月間欠課セシ者ハ其月ノ授業料ヲ免除ス 是月東京大学医学部第一医院脚氣院病室ノ新築落成ス 同月東京大学化学実験室ノ新築ニ着手ス

十一月五日甲府県ニ於テ文部卿ノ認定ヲ歷中学校師範学校ノ教員タルヲ得タルモノハ乙府県ニ於テモ直ニ之ヲ任用スルヲ得ヘキ旨ヲ府県ニ通知ス○九日從五位三島毅及原坦山ヲ東京学士会院會員ト為ス 同日文部省第十一年報及附録ヲ上呈シ尋テ之ヲ府県ニ配布ス○十六日曩ニ樂善会ノ出願ニ依リ同会私設ノ東京府下訓盲啞院ヲ本省ノ直轄ト為シ其教授法ノ得失ヲ実験シ兼テ此種ノ学校ノ模範ヲ示サンヲ上請允裁ヲ得○二十日東京大学本科外ノ諸科及東京大学予備門東京商業学校ノ研究生ハ徴兵令第九条ニ拠リ引続徴集猶予ノ部ニ属スヘキヤヲ上稟シ允裁ヲ得○二十一日東京師範学校師範学科生徒ノ学資給与規則ヲ改ム○二十二日独逸国官費留學生渡邊渡婦朝ス○二十五日教育令第二十五条教員免許状ノ件ニ就キ前途

多少ノ費用ヲ要スヘキニ因リ右手数料ニ関スル件ヲ上稟ス○  
二十八日 文部大書記官兼東京大学副総理濱尾新欧州へ差遣ヲ  
命ス

十二月一日東京学士会院ノ会員ハ東京大学教授等ノ例ニ倣ヒ  
特ニ公衆ヲ集メ學術上講談演説ヲ為スヲ許ス○三日東京大学  
予備門卒業生ニシテ直ニ東京大学ニ入ルモノハ其入学ノ期徴  
兵検査時限ニアルモ徴集猶予ニ属セシメンヲ上請允裁ヲ得  
○四日官費海外留学生規則第一条中東京大学卒業生ノ下ニ其  
他文部省所轄学校ノ専門科若クハ師範学科ノ卒業生ノ二十四  
字ヲ加フルヲ上申ス○五日從四位田中芳男從五位三宅秀ヲ  
東京学士会院会員ト為ス○九日体操伝習所兵式体操及輕体操  
修業員ニ係ル教科併ニ伝習要旨等ヲ定ム○十五日東京大学理  
学部学科中機械工學土木工學採鋳冶金學應用化學等ノ諸学科  
ヲ分割シテ更ニ工芸學部ヲ置キ文學部中ノ政治學科ヲ法學部  
中ニ置キ法學部ヲ法政學部ト改稱シ且理學部附屬ノ造船學科  
ヲ工芸學部ニ附屬セシム○十六日法律學修業ノ為法律學士楳  
謙次郎ヲ仏國ニ醫學眼科學修業ノ為醫學士河本重次郎ヲ獨逸  
國ニ發遣ス○十七日当省本年第十一号達ニヨリ府県立師範學  
校高等科第一級生ヲ選抜シテ東京師範學校ニ入学セシメタル  
生徒ノ徴兵猶予特例ノ件ヲ上請允裁ヲ得○二十二日工部省  
所轄工部大學校ヲ本省ノ管理ニ屬セラル○二十四日東京大學  
工芸學部附屬造船學科設置ニ関シ明治十七年中本省ト海軍省  
トノ間ニ定メタル條例中第六條ヲ改正シテ學生ノ學費及旅費  
ハ悉ク官費ニシテ其學費ハ一名一ヶ月金十圓其旅費ハ大學所

定ノ額ニ依リ該金額ハ海軍省ヨリ大學ニ回付云々等トス是造  
船學ハ志願人少フ養成上不便ナルヲ以テナリ○二十六日自今  
毎年四月十二日ヲ東京大學ノ紀念日ト定ム 同日体操伝習所  
伝習員及別課伝習員ノ授業料額ヲ定ム○二十八日体操伝習所  
兵式体操及輕体操伝習員ニ限リ授業料ヲ免除ス 同日体操伝  
習所ヲ東京師範學校ニ附屬セシメ又音樂取調所ヲ音樂取調掛  
ト改メ大臣官房ノ附屬トス

本省明治十七年第八号達ニ抛リ本年三月十六日ヨリ四月十七  
日マテ中學校師範學校教員學力試験ヲ施行ス受験者百四十二  
名ニシテ其中及第スルモノ百六名落第スルモノ三十六名又右  
達第三条但書ニ抛リ本年三月ヨリ十一月マテ中學校師範學校  
ノ教員免許狀ヲ授与セシモノ九十九名ナリ其他直轄學校教員  
中特ニ中學校師範學校ノ教員タルヲ認定シ及ヒ中學校師範學  
校ノ全科若クハ數科ノ教員免許狀ヲ授与セシモノ十一名本人  
所有ノ卒業証書ニ抛リ中學校師範學校ノ教員タルヲ認定セ  
シモノ十六名アリ

本年中公文往復ノ總數ハ三万六千六百一十一件官報資料送付ノ件ハ  
五百五十三件文部省年報ヲ印行スルモノ本編四千四百部附錄  
千八百部學事統計表類ヲ印行スルモノ凡ソ二千九百部ナリ」  
其他小學校中學校專門學校等ノ教科書及ヒ教育上須要ナル図  
書ノ編纂翻譯ニ着手セルモノ計三十種從來編纂翻譯ノ圖書ニ  
シテ本年中發刊セルモノ十七種再刷ニ付スルモノ二十種トス  
又小學校及ヒ師範學校ノ教科書ヲ調査セシモノ百九十種ナ  
リ

## 職員ノ部

明治十八年末本省職員ノ現数ハ勅任一名奏任十七名判任百三十一名准判任御用掛四十七名雇六十一名合計二百五十七名ナリ又直轄部局職員ノ現数ハ勅任三名奏任六十六名准奏任御用掛十八名判任二百十二名准判任御用掛九十二名雇二百五十四名計六百四十七名ナリ之ヲ前年ニ比較スレハ本省ハ七十七名ヲ減シ直轄部局ハ五十九名ヲ増セリ蓋本省ノ大ニ其数ヲ減スルモノハ非職解雇等ノ多キニ因リ直轄部局ノ却テ其数ヲ増スモノハ該年末ニ至リ工部大学校ヲ本省所轄ニ属セラレタルニ因ル此他非職ノ員数ヲ挙クレハ本省ニ奏任十三名准奏任御用掛九名判任二十六名准判任御用掛六名計五十四名直轄部局ニ奏任三名准奏任御用掛一名判任七名准判任御用掛四名計十五名アリ茲ニ局長及所轄部局長等ノ交迭ヲ概記スル事左ノ如シ

一月二十二日専門学務局長文部大書記官兼参事院員外議官補濱尾新東京大学副総理ニ兼任ス兼参事院員外議官補故ノ如シ  
二月九日文部大書記官濱尾新ニ学務一局長ヲ會計局長文部大書記官中島永元ニ報告局長ヲ報告局長文部権大書記官小林小太郎ニ学務一局副長ヲ會計局副長文部権少書記官江木千之ニ学務二局勤務ヲ文部少書記官伊澤修ニニ音楽取調所長兼務ヲ体操伝習所主幹文部省御用掛西村貞ニ体操伝習所長ヲ命シ文部少書記官依田百川ノ報告局副長ヲ免ス○十日文部権大書記官久保田讓ニ會計局長ヲ命ス  
六月二日東京教育博物館館長手島精一文部少書記官ニ東京図書館館長平山太郎文部権少書記官ニ文部省御用掛箕作秋坪東京教

育博物館長兼東京図書館長ニ任ス

八月二十二日体操伝習所長文部省御用掛西村貞文部少書記官ニ任ス 同日文部省御用掛野村彦四郎ニ体操伝習所長ヲ命ス  
○二十六日文部省御用掛森有禮ニ東京師範学校監督ヲ命ス  
九月五日東京女子師範学校校長兼教諭那珂通世東京師範学校教諭ニ任ス○八日大阪中学校校長折田彦市大学分校長ニ任ス○二十一日文部省御用掛森有禮ニ東京商業学校監督ヲ命ス○二十二日東京外国語学校校長内村良藏文部権大書記官ニ任ス○二十九日東京法学校長心得文部権少書記官加太邦憲ニ東京大学法学校長心得ヲ命ス  
十二月一日学務一局副長文部権大書記官小林小太郎ニ東京大学予備門長事務取扱兼勤ヲ命シ東京大学予備門長杉浦重剛ニ非職ヲ命ス○十八日報告局長文部大書記官中島永元ニ学務一局長不在中学務一局長兼勤ヲ命ス○二十二日森有禮文部大臣ニ任セラル○二十五日文部権少書記官加太邦憲併ニ東京大学教授穂積積陳重ニ東京大学法政学部長心得ヲ東京大学教授兼東京大学理学部長菊池大麓ニ当分東京大学工学学部長心得兼勤ヲ命ス○二十八日文部大書記官中島永元大学分校長ニ任シ大学分校長折田彦市文部権大書記官ニ任ス 同日文部大書記官辻新次ニ文部大臣官房長心得兼学務局長心得ヲ同小牧昌業ニ文部大臣官房次長心得ヲ同久保田讓ニ會計局長心得ヲ文部権大書記官伊澤修ニニ編輯局次長心得ヲ同折田彦市ニ学務局次長心得ヲ文部権少書記官内藤素行ニ文部大臣官房第一課長心得ヲ同青木保ニ同第二課長心得ヲ同西川鍊次郎ニ同第三課長

心得ヲ同大島三四郎ニ同第四課長心得ヲ同野村彦四郎ニ東京  
 大学予備門長心得ヲ命シ東京大学予備門長事務取扱兼勤文部  
 権大書記官小村小太郎ニ非職ヲ命ス

本省職員 兼官ハ除ク

非職員	比較減	前年増	職員	種別
：	：	一	一	勅任
一三	：	：	一七	奏任
九	一五	：	：	准奏任 御用掛
二六	二〇	：	一三一	判任
六	一	：	四七	准判任 御用掛
：	三八	：	：	等外
：	四	：	六一	雇
五四	七七	：	二五七	計

直轄部局職員

非職員	比較減	前年増	職員	種別
：	：	：	一	総理
：	：	：	一	教授
：	：	一	一	出仕
一	二	：	六	長 <small>学校</small>
：	：	一	二	幹事
一	：	四	三	教授
一	：	六	九	助教授
：	：	五	九	助教授
一	：	四	一	掛御用
一	：	一	一	掛御用
：	：	三	二	助教授
三	：	：	四	助教授
：	：	三	九	訓導
四	三	：	七	書記
：	：	三	三	属
四	六	：	九	掛御用
：	三	：	：	外
：	：	三〇	二	雇
一五	：	五	二	計
			五	合

【明治十八年文部省事務報】  
 〔附〕 24, 35-5, ①1519